

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年01月31日

計画の名称	福岡市東部地域地区都市再生整備計画													
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）										重点配分対象の該当		○	
交付対象	福岡市													
計画の目標	大目標 交通結節機能の強化や多様な都市機能の導入等による東部広域拠点にふさわしい広域的な都市づくり 目標1 魅力あふれる都市拠点づくり 目標2 安全・安心で快適な居住環境の向上 目標3 地域コミュニティの形成													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		11,246	A	9,251	B	0	C	1,995	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	17.73	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H24・H25.9）	—	（H30）
1	駅乗降客数			
	地区内各駅の年間の乗降客数の合計値	1952万人／年	万人／年	2295万人／年
2	居住人口			
	地区内における居住人口	49105人	人	52600人
3	公民館利用者数			
	地区内の公民館利用者数	147641人／年	人／年	182000人／年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	福岡市	直接	福岡市	-	-	福岡市東部地域地区都市 再生整備計画事業	485ha	福岡市	■	■	■	■	■	9,251		-	
												小計						9,251		
												合計						9,251		

C 効果促進事業																					
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
都市再生整備計画事業	C10-001	都市再生	一般	福岡市	直接	福岡市	-	-	香椎駅周辺土地区画整理 事業（市単独分）	土地区画整理事業	福岡市	■	■	■	■	■	1,197		-		
		基幹事業である都市再生整備計画事業と一体的に整備することにより、交通結節機能の強化や都市活動の展開促進を図り、まちの活力や賑わいを再生し魅力あふれる都市拠点づくりを推進する。																			
	C10-002	都市再生	一般	福岡市	直接	福岡市	-	-	香椎公共施設整備事業（ 音楽・演劇練習場、市民 課諸証明発行窓口）	文化・行政サービス機能の整 備	福岡市	■	■					716		-	
		基幹事業である都市再生整備計画事業と一体的に整備することにより、魅力あふれる都市拠点づくりを推進する。																			
	C10-003	都市再生	一般	福岡市	直接	福岡市	-	-	老人いこいの家整備事業	高齢者コミュニティ形成	福岡市	■	■					78		-	
		基幹事業である都市再生整備計画事業と一体的に整備することにより、地域コミュニティの形成を推進する。																			
	C10-004	都市再生	一般	福岡市	直接	福岡市	-	-	事業効果把握調査	事業効果の調査委託	福岡市					■		4		-	
		全ての事業の効果を分析することで、成果指標や目標の達成状況等、本計画の検証を実施する。																			
												小計							1,995		
											合計							1,995			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

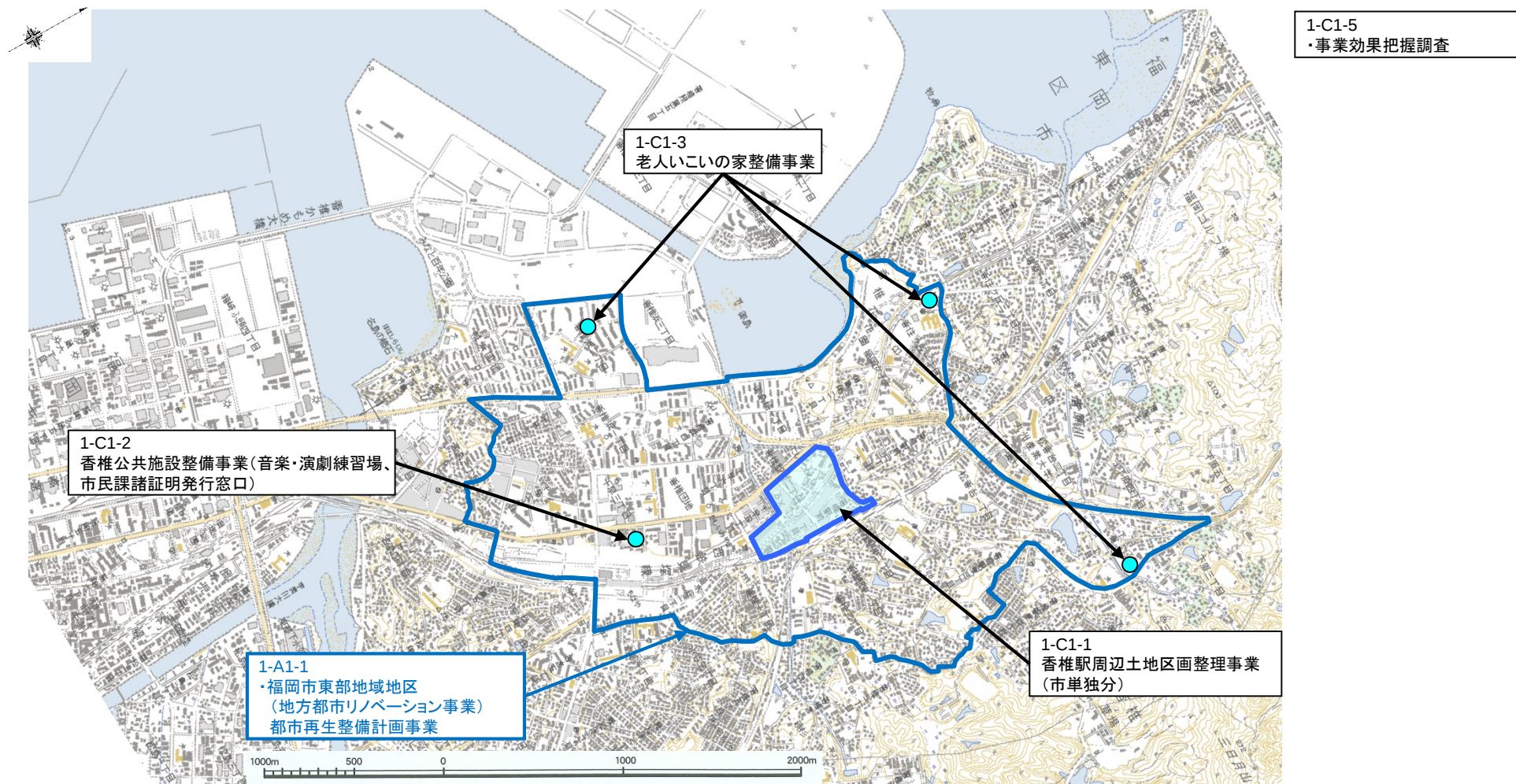
	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	1,173	1,189	1,623	441	203
計画別流用増 減額 (b)	0	0	90	3	0
交付額 (c=a+b)	1,173	1,189	1,713	444	203
前年度からの繰越額 (d)	0	154	67	355	287
支払済額 (e)	1,019	1,276	1,425	512	457
翌年度繰越額 (f)	154	67	355	287	33
うち未契約繰越額(g)	48	23	187	246	16
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	4.09	1.71	10.51	30.78	3.27
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由			関係者との協議に日時を要したため。	補償交渉に不測の日数を要したため。	

(参考図面)

【計画の名称】福岡市東部地域地区都市再生整備計画

【計画の期間】 平成26年度～平成30年度（5年間）

【交付対象】 福岡市



都市再生整備計画(第6回変更)

福岡市東部地域地区
(地方都市リノベーション事業)

福岡県 福岡市

平成30年1月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

様式1 目標及び計画期間

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	地区名	福岡市東部地域地区（地方都市リノベーション事業）	面積	485	ha
計画期間	平成	26	年度	～	平成	30	年度	
					交付期間	平成	26	年度
						～	平成	30
							年度	

目標
大目標 交通結節機能の強化や多様な都市機能の導入等による東部広域拠点にふさわしい広域的な都市づくり 目標1 魅力あふれる都市拠点づくり 目標2 安全・安心で快適な居住環境の向上 目標3 地域コミュニティの形成
目標設定の根拠
都市全体のリノベーション方針(都市構造再編を図るため、都市機能の拡散を防止する等の公的不動産のマネジメントの取り組みを含む) ・福岡市基本計画では、都市の成長エンジンである都心部を中心として、市民生活の核となる地域拠点などに多様な都市機能が集積し、交通基盤のネットワークにより移動の円滑性が確保された「福岡型のコンパクトな都市」を目指しており、多核連携型の都市構造として拠点の特性に応じた用途を配置し、適正な機能の集積、強化を図ることとしている。 ・土地利用の基本的な方針としては、拠点の特性に応じた都市機能の集積、誘導を図ることとし、特に広域拠点や地域拠点などの市民生活の核となる拠点においては、交通結節機能の強化と商業・業務機能の充実、行政サービスや文化・情報、福祉などの機能の強化を図ることとしている。 ・公的不動産が持つ都市機能については、福岡市アセットマネジメント基本方針及び実行計画に基づき、既存施設の改築に合わせた関連施設との機能集約や拠点に位置づけられた地域への再配置を行うと共に、周辺の業務、商業機能など適切な土地利用を誘導し、都市機能の集約及び更なる拡散の防止と公的不動産の有効活用を図る。
まちづくりの経緯及び現況
・本地区は、福岡市の都心(天神)から北東約8kmに位置し、地区内にはJR(2駅)及び西鉄(3駅)の2本の鉄道がある。また、九州の大動脈である国道3号が区域を横断し、国道3号博多バイパスとも東側で接しており、都心部方面や福岡空港を結ぶ都市高速のランプを複数有するなど地区の交通ポテンシャルは極めて高い。 ・本地区は、本市総合計画(マスタープラン)において、東部広域拠点と位置付けられており、香椎操車場地区と香椎駅周辺地区との2つの核による「あれい構造」の拠点形成を目指している。「活動核」と位置づけられている香椎操車場地区では、昭和59年の旧国鉄改革に伴う香椎操車場規模縮小(約26haが遊休地化)を契機として、福岡県及び本市の要請で平成5年度から独立行政法人都市再生機構施行による香椎副都心土地区画整理事業が実施された。また、「生活文化核」と位置づけられている香椎駅周辺地区では平成11年度から福岡市施行による香椎駅周辺土地区画整理事業を実施しているところである。 ・本地区においては、平成18年度末に西鉄宮地岳線香椎駅周辺連続立体交差事業が完了し、臨海部においては、本市の先進的なモデル都市となるアイランドシティ整備事業が推進されている。 ・本地区は都市再生緊急整備地域(福岡香椎・臨海東地域)を含む地区であり、操車場跡地等の土地利用転換や既成市街地の再整備により、商業、業務等の多機能都市拠点の形成を図ることとしている。 ・平成10年度から香椎操車場地区内の地権者代表を含む「香椎副都心地区都市環境デザイン検討委員会」において都市環境デザインマスタープランを策定し、平成17年4月には「都市景観形成地区」を指定している。 ・平成20年度に千早並木広場活用検討協議会を設立し、並木広場フェスタ等を実施して、地域住民などの広場への関心を高めるとともに、新旧住民のコミュニティづくりに貢献している。 ・平成19年度よりまちづくりのルールづくり代表者会議を設立し、ルールづくりのワークショップや市民フォーラム等を開催してきている。、平成21年3月には『香椎』街づくり推進協議会が設立され、街の界限性を活かしたまちづくりガイドライン(総論)や地区計画案の作成などに取り組んでいる。 ・平成23年度には香椎副都心土地区画整理事業が完了、香椎駅周辺土地区画整理事業も進捗しており、建築物の立地や都市活動の展開のための基盤整備が進展してきている。
課題
①ー1: 東部広域拠点としての拠点性向上を図るとともに、周辺地域との連携を強め、地域間交流や魅力あふれる都市づくりを推進する。 ①ー2: 香椎駅周辺地区においては、香椎の街(商店街)の活力や賑わいの向上、香椎らしさ(界限性)の創出、生活文化(暮らしの便利さ、楽しさ)を創造するため、公共施設の空間デザインの検討支援等を行う。また、土地区画整理事業が完了した香椎操車場地区においては、人々の活動に必要な商業、業務、住居系の建築物等の整備が必要であり、建築物等の計画的な立地・誘導を図る必要がある。 ②ー1: 駐輪場の整備推進等により放置自転車の増加を抑制し、快適な歩行空間を確保することにより、まちの回遊性を高めるとともに居住環境の向上を図る必要がある。 ③ー1: 地域住民のコミュニティの醸成や自治会等の活動を支援するために、地域コミュニティ活動の場の整備が必要である。 ③ー2: これまで行ってきた住民主体のイベント等をより一層進めるために、広場利用・管理の仕組みを適切に運用していく必要がある。
将来ビジョン(中長期)
・第9次福岡市基本計画では、主要な拠点は「都市の成長」と「質の高い生活」を両立させ、両者の好循環を図るため、都市活動や市民生活にとって重要な拠点となる地区として位置付けられている。 ・香椎駅・千早駅周辺は、広範な生活圏の中心となる“東部広域拠点”として、香椎公共施設を核に、にぎわいにあふれ、多くの人がひかれ、文化芸術を感じられるまちづくりを進めることとされている。 ・なお、香椎駅・千早駅周辺とアイランドシティは、連携を図りながら、新しい都市機能を担うとともに、一体的な拠点地域の形成に取り組むこととされている。 ・平成26年度に改訂予定の福岡市都市計画マスタープラン(区別構想:東区)では、「行政サービス・業務施設が集積し、界限性をもった商店街が集まる2つの核を持ったにぎわいと魅力ある東部拠点」として位置付けられている。 ・また、千早駅周辺については、“活動核”として「環境への配慮や情報化に対応したまちづくり」や「行政サービス機能や業務・商業機能の適正な誘導」を図ることとされている。

リノベーション事業の計画

都市機能配置の考え方
・「福岡市基本計画」において東部広域拠点と位置付けられ、土地区画整理事業の進展により形成された良好な都市基盤や、鉄道や充実したバス路線による高い交通利便性を有する当該地区を、地方都市リノベーション事業の中心拠点地域と設定し、にぎわいと魅力ある拠点の形成を図るため、行政サービス機能や業務、商業機能の適正に配置・誘導し、持続可能な拠点都市を形成する。
・公民館等の既存施設については改築にあわせて関連施設との合築を図るなどにより利便性向上や運営の効率化を図る。
・新規に整備する施設に関しても、機能の集約化を図り、都市機能の拡散防止と公共不動産の有効活用を図る。特に、交通結節点である駅前に生み出された新たな空間では、広域拠点に相応しい多様な都市機能を集積すると共に、市民の芸術文化活動、コミュニティ活動を推進する施設の整備により、都市活動の活発化を促進していく。
・本市では、これら広域拠点などの主要な拠点への適正な機能集積と強化を図ることで市街地の更なる拡大を抑え、均整のとれた多核連携型の都市構造の形成を目指す。
・移転整備による従前の土地・建物等については、移転後の周辺地域の状況を踏まえながら方策を検討する。

目標を達成する上で必要な「地方都市リノベーション推進施設」「生活拠点施設」の考え方（民間事業者による事業継続の見込みや民間事業に対する行政の支援等を含む）
・都市活動の中心となる鉄道駅周辺のにぎわいの創出や業務機能・行政サービスの充実、また、芸術・文化などのコミュニティ活動を促進していく上で、老朽化した東図書館・東市民センター建替えの契機を踏まえ、他の関連施設と機能集約して移転再整備を行い、魅力あふれる都市の中心施設として再構築する。
・現状の図書館は隣接する市民センターとともに、交通利便性が低く、規模が小さく窮屈であるなど、様々な課題を抱えている。鉄道駅前への移転再整備を行うとともに、地域交流センター（ホール・諸室）・音楽・演劇練習場・諸証明発行窓口を複合的に機能集約することで、図書館本来の集客力以上に多面的な集客が可能となり、施設間の相乗効果も得られ、広く利用を促進し、住民の利便性の向上や新たな魅力の創出を図る。
・図書館を含めた複合公共施設の整備による駅周辺のにぎわい・魅力の向上は、本市東部地域における都市再構築の“起爆剤”として、地域経済の活性化にもつながることが期待される。

地方都市リノベーションに必要なその他の交付対象事業等
・地域生活基盤施設（香椎公共施設/北区駐車場）：施設利用者の利便性向上を図ることで、施設への集客力の向上や都市活動の活発化のほか、周辺エリアへの多様な都市機能の立地促進やにぎわいづくりに寄与する。また、周辺エリアの交流人口の増加により地域への経済波及効果も望める。
・高次都市施設（香椎公共施設/地域交流センター）：複合施設として整備することにより、施設の持つ教育・文化の振興、社会福祉の増進、地域の連帯感の効用などの機能を相乗的に高める。また、拠点エリアに整備することにより、利用者の利便性を高め、利用を促進し、さらには、周辺エリアへの多様な都市機能の立地促進やにぎわいづくりに寄与する。
・高次都市施設、関連事業/効果促進事業（公民館・老人憩いの家複合施設/地域交流センター）：改築にあわせて、地域コミュニティの醸成という目的が共通する施設同士を合築し、機能の集約による利便性の向上や効率化を図るとともに、各施設の利用者間の交流が促進され、地域コミュニティ活動の活発化を促進する。
・関連事業/効果促進事業（香椎公共施設/音楽・演劇練習場、市民課諸証明発行窓口）：多様な利用者の来訪を促すことで、集客力の向上、さらには、周辺エリアへの多様な都市機能の立地促進やにぎわいづくりに寄与する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
駅乗降客数	万人/年	地区内各駅の年間の乗降客数	広域拠点にふさわしい広域的な都市拠点としての魅力向上を図り、街の回遊性を高めることによって、地区内各駅の年間の乗降客の増加を図る。	1,952	H24	2,295	H30
居住人口	人	地区内の居住人口	安全・安心で快適な居住環境の向上により、地区内の居住人口の増加を図る。	49,105	H25	52,600	H30
公民館利用者数	人/年	地区内の公民館利用者数	地域コミュニティの形成のために、コミュニティ活動の拠点となる地区内の公民館利用者の増加を図る。	147,641	H24	182,000	H30

様式2 整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
整備方針1(魅力あふれる都市拠点づくり) ・香椎駅周辺の駅前広場等の整備推進による交通結節機能の強化とともに、商業・業務機能の立地・誘導、さらには文化・行政サービス等の広域的都市機能の充実を図り、周辺地域からの利便性の向上と新たな魅力あるまちづくりを進める。 ・歩行者空間の魅力を高める取り組みを展開(歩道植栽、照明灯の設置等)することで、回遊性を高め、東部広域拠点にふさわしい都市拠点づくりを目指す。 ・香椎らしいまちづくりの推進に向けて、地域のまちづくり団体の活動を支援することで、まちの活力や賑わいの向上を図る。 ・香椎地区は「福岡市バリアフリー基本計画」において重点整備地区となっており、道路のユニバーサルデザインの観点からも生活文化(暮らしの便利さ)の創造を図る		・「土地区画整理事業」基幹／香椎駅周辺地区 ・「高質空間形成施設」基幹／西鉄・JR香椎駅前広場 ・「高次都市施設」基幹／地域交流センター(香椎公共施設) ・「地方都市リノベーション推進施設」基幹／香椎公共施設(図書館) ・関連事業:効果促進事業／香椎駅周辺土地区画整理事業(市単独費) ・関連事業:効果促進事業／香椎公共施設(音楽・演劇練習場, 市民課諸証明窓口)
整備方針2(安全・安心で快適な居住環境の向上) ・基盤整備の早期完了に向けて香椎駅周辺土地区画整理事業を推進し、交通結節機能の強化を図るとともに、商業・業務・文化・行政サービス機能などの多様な都市機能の充実により快適な居住環境の向上を図る。 ・土地区画整理事業と連携し、老朽した河川護岸及び兼用工作物の改善を図ることにより、居住環境の向上等、広域拠点にふさわしいまちづくりを推進する。		・「土地区画整理事業」基幹／香椎駅周辺地区 ・「高質空間形成施設」基幹／香椎川 ・「高質空間形成施設」基幹／香椎跨線人道橋 ・「高質空間形成施設」基幹／西鉄・JR香椎駅前広場 ・「地方都市リノベーション推進施設」基幹／香椎公共施設(図書館) ・「地域生活基盤施設」基幹／駐車場整備(香椎公共施設北区) ・関連事業:効果促進事業／香椎駅周辺土地区画整理事業(市単独分) ・関連事業:効果促進事業／香椎公共施設(音楽・演劇練習場, 市民課諸証明窓口)
整備方針3(地域コミュニティの形成) ・公民館や老人いこいの家の改築等を計画的に推進し、地域住民が活動しやすい地域コミュニティ活動の場を提供する。 ・広場の利用・管理のための仕組みを適切に運用し多様なイベント活動の場、市民の憩いの場、地域コミュニティを育む場などとしての広場の利用・管理運営を主体的に行う地域団体の活動を支援する		・「高次都市施設」基幹／地域交流センター(香椎浜公民館、香住丘公民館、香椎下原公民館、香椎公共施設) ・関連事業:効果促進事業／老人いこいの家整備事業
事業実施における特記事項		
・福岡市東部地域地区(旧:香椎副都心地区)については、第1期計画(平成16年度～平成20年度)、第2期計画(平成21年度～平成25年度)として「交通結節機能の強化や多様な都市機能の導入等による東部副都心にふさわしい広域的な都市づくり」を目標としてまちづくりに取り組んできた。 ・引き続き、土地区画整理事業等基盤整備を進めるとともに、香椎公共施設を整備し、香椎のまちの活力や賑わいを再生し魅力あふれる都市拠点づくりを推進する。 ・更なる東部地域の魅力を高めるために、平成26年度より福岡市東部地域地区の第3期計画を策定するものである。		

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費		9,250.7	交付限度額		4,553.4	国費率		0.492						
(金額の単位は百万円)														
基幹事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路														
公園														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道		—			—									
駐車場有効利用システム		—			—									
地域生活基盤施設		駐車場(香椎公共施設北区)	福岡市	直	—	平成28年度	平成28年度	平成28年度	平成28年度	1,857.8	1,857.8	1,857.8	0.0	464.5
高質空間形成施設		香椎川	福岡市	直	30m	平成22年度	平成30年度	平成30年度	平成30年度	30.0	30.0	30.0	0.0	30.0
		香椎跨線人道橋(国費率40%)	福岡市	直	—	平成27年度	平成29年度	平成27年度	平成30年度	209.5	209.5	209.5	0.0	209.5
		西鉄・JR香椎駅前広場(国費率40%)	福岡市	直	—	平成28年度	平成30年度	平成28年度	平成30年度	510.0	510.0	510.0	0.0	510.0
高次都市施設		地域交流センター(公民館)	福岡市	直	—	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	619.3	619.3	619.3	0.0	619.3
		地域交流センター(香椎公共施設)	福岡市	直	—	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	2,858.4	2,858.4	2,858.4	0.0	2,858.4
地方都市リノベーション推進施設		香椎公共施設(図書館)	福岡市	直	—	平成26年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	519.4	519.4	519.4	0.0	519.4
生活拠点施設														
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業		香椎駅周辺	福岡市	直	20.7ha	平成11年度	平成30年度	平成26年度	平成30年度	9,465.0	4,039.6	4,039.6	0.0	4,039.6
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										16,069.4	10,644.0	10,644.0	0	9,250.7
提案事業(継続地区の場合のみ記載)														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造 支援事業														
事業活用調 査														
まちづくり活 動推進事業		—			—									
合計										0	0	0	0	0
													合計(A+B)	9,250.7

…A

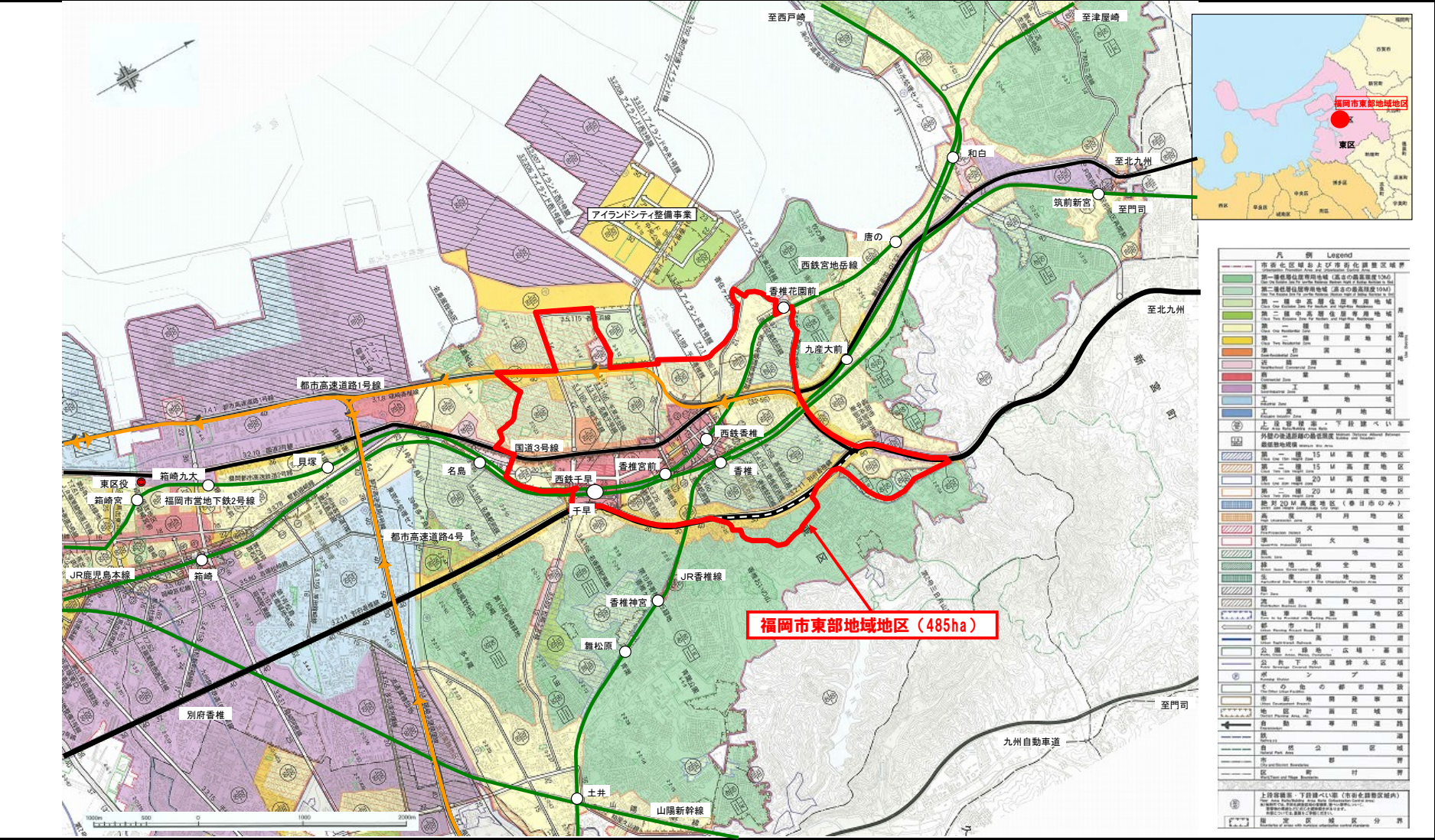
…B

(参考) 関連事業

[illegible]

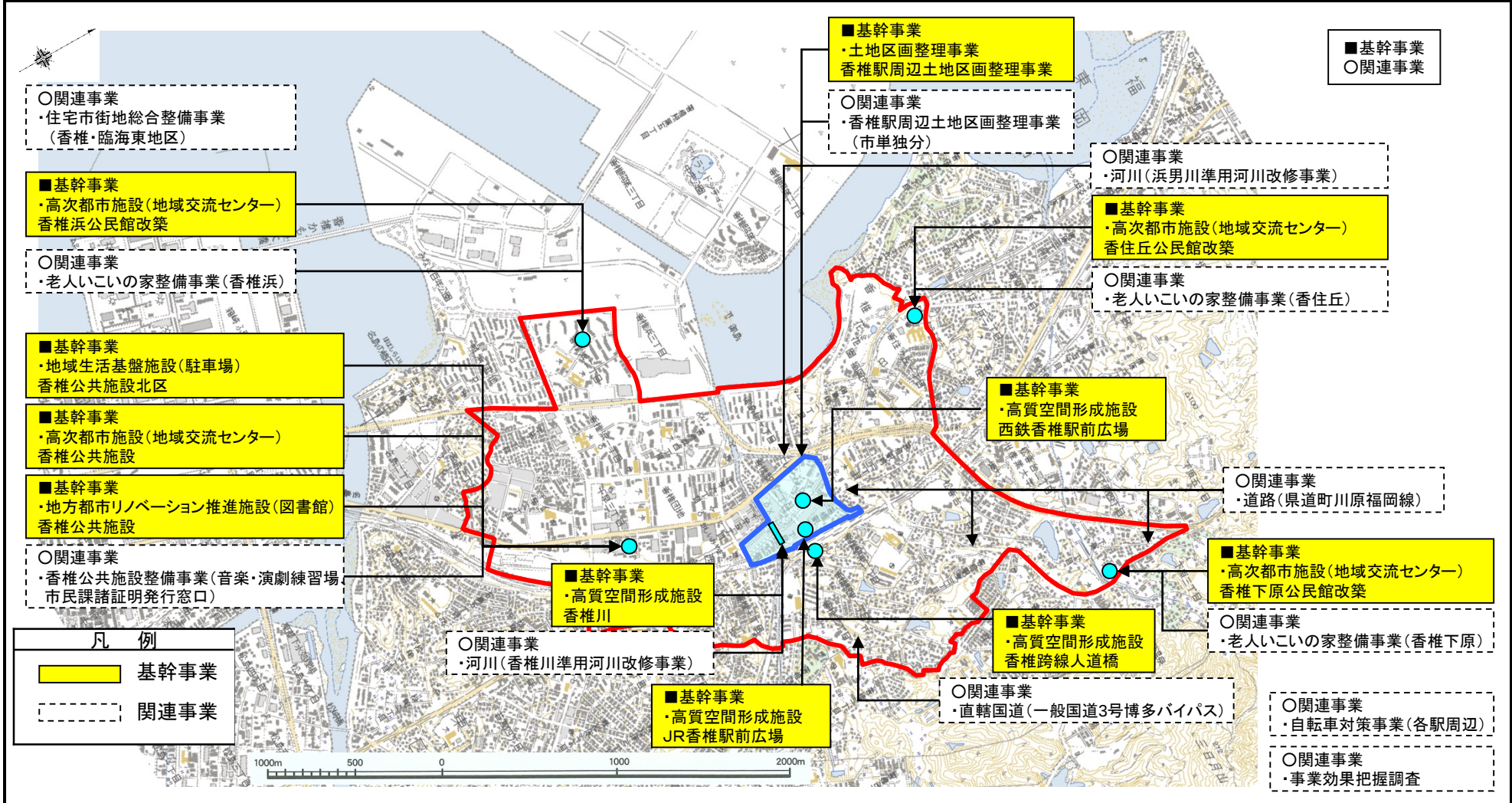
都市再生整備計画の区域

福岡市東部地域地区(福岡県福岡市)	面積	485 ha	区域	水谷2丁目、香椎団地、千早1～6丁目、香椎浜1丁目、香椎浜2丁目、香椎浜4丁目、香椎1丁目、香椎2丁目、下原1丁目、香椎駅前1～3丁目、香椎駅東1～3丁目、松香台1丁目、御島崎1丁目、御島崎2丁目、香住ヶ丘1丁目、香住ヶ丘7丁目
-------------------	----	--------	----	--



福岡市東部地域地区(福岡県福岡市) 整備方針概要図

目標	大目標 交通結節機能の強化や多様な都市機能の導入等による東部広域拠点にふさわしい広域的な都市づくり	代表的な指標	駅乗降客数 (万人/年)	1,952 (H24年度)	→	2,295 (H30年度)
	目標1 魅力あふれる都市拠点づくり		居住人口 (人)	49,105 (H25年度)	→	52,600 (H30年度)
	目標2 安全・安心で快適な居住環境の向上		公民館利用者数 (人/年)	147,641 (H24年度)	→	182,000 (H30年度)
	目標3 地域コミュニティの形成					



社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称:福岡市東部地域地区都市再生整備計画 事業主体名:福岡市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1)まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	○